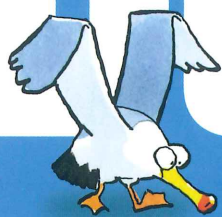


フネの世界で進むさまざまな取り組みをご紹介します!

ボート倶楽部

BOAT CLUB

FEBRUARY 2022
2



【特集】クルマで進む技術革新がフネにも!?

ボートの未来を考える



【Boat Fishing】

みっちい、ゲストとマイボート釣行へ
超浅場を攻める、東京湾ボトムチニング
小野信昭が館山湾でカサゴ5種に挑む

【Boat】

レア23オープン

【Others】

新連載スタート! 釣りバカ社長の
GROOVY BOATING

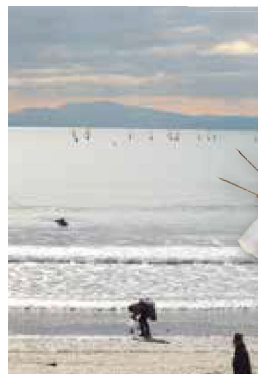
ビーチクリーン



ビーチクリーン開始! 散らばる参加者一同。どんな小さなごみも見逃すまじという熱が感じられた



由比ガ浜ビーチクリーンの開始時間が近づくにつれ続々と参加者が集まり、受付テントに並ぶ長い列ができた



由比ガ浜のビーチクリーン後に海沿いの道で、波打ち際でごみを拾いつつ歩く男性を発見。渡邊さんの言葉が早くも裏づけられた



歌いながら楽しそうにごみを探していたお二人。日本海洋アカデミーのジュニアヨットクラブのメンバーとインストラクターさん。リビエラシーボニアマリナーでの練習会後に駆け付けてくれたそう

「海や川に捨てられたごみ、流れていつて見えなくなると、なくなったような気になるがそうではない。たす」とのこと。

所要時間にするとなぜか20分程度と決して長いわけではなかったし、「見何もないきれいな砂浜に見えていたにもかかわらず、予想以上のごみが集まった。」

ただ地球を巡っているだけ。誰かがアクションを起こさなければ、増え続けていく「方」という、リビエラ小林社長の言葉が心に響く。

ビーチクリーンのあとはリビエラ逗子マリナーのシースケイプにて、「LOVE OCEAN」をテーマとした、海にまつわるトークライブが開催され、「ジェンダー」「環境」「地元

の新しい取り組み」「海を越え世界と繋がるスポーツ」「海の魅力/海の文化、ヨット文化」という五つのパネラーに富んだトピックについて、各トピックそれぞれの有識者による言葉はリアルで時には重く、しかし笑いも交えながらテンポよく進み、さまざまな角度から「海」について

枠組みを問わずにSDGsに賛同する人々が一堂に会する機会を提供するために、2021年より開催されている「リビエラSDGsフェス」。4回目である今回は、「LOVE OCEAN」、つまり海がテーマで、水産物の朝市やマルシェ、ビーチクリーンにトークライブなどさまざまなコンテンツが用意されているという。これは行くしか!と、マリナーに駆け付けた。

LOVE OCEAN
～リビエラ湘南ビーチクリーン～
第4回
リビエラSDGsフェス
2021/12/05 SUN
@リビエラ逗子マリナー

葉山で、逗子で、鎌倉で、

【文・写真】新谷祥子(本誌)

海に思いをはせ、
海で過ごす一日

由比ガ浜でのビーチクリーンに集まったみなさんと記念にパチリ。
この日ビーチクリーンに参加した人数は、のべ700人近かったという



「わあすごい! 生きてるよ!」「カワハギおいしそうね」「でもアナタ、買つてもさばけないでしょ?」「でもせっかくだから……」

朝市の隣では、毎月開催され大好評だった「リビエラマルシェ」が限定復活開催された。地元のスーパ、スズキヤの人気商品や、有機や無農薬で栽培された新鮮野菜などが販売され、SDGsの複数のゴールに深く関係する「地産地消」を意識できる機会にもなっていた。

それらと同時進行で、午前中には森戸海岸と逗子海岸で、お昼すぎからは由比ガ浜海岸で、ビーチクリーン活動が行われた。記者が赴いた由比ガ浜には鎌倉市の松尾市長をはじめ、この日のトークショーに登壇する白石康次郎さん(海洋冒険家、廣瀬俊朗さん(元ラグビー日本代表主将)、西内ひろさん(モデル、女優)、三浦豪太さん(プロスキヤー)の姿も。参加者は近隣の住

朝市&マルシェ



葉山漁協のへばら丸の売り場。新鮮な海産物にまつて地元産のひじきを使った加工品やお菓子(一)も並んでいた



マルシェには、真っ黒な「黒丸大根」や虫が食うほど甘みの強い「ビタミンド根」など、地元産の新鮮野菜もたくさん



葉山、小坪、鎌倉の朝取れ海産物が並んだ朝市



ウェットスーツ製造時に出る端材で海の生物をモチーフにした雑貨を作っているKATE'S FRIENDSさん



朝市会場横に設置された「タッチプール」は海の生き物に直接触れられるとあって、子どもたちに大人気!

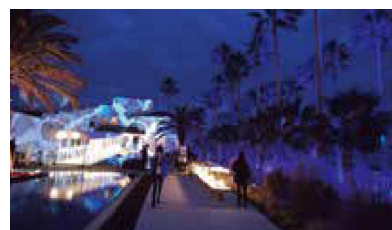
トークショー&光の演出



「海を越え世界と繋がるスポーツ」について語る廣瀬俊朗さん(左)、白石康次郎さん(中央)、三浦豪太さん(右)



オーシャンビューも美しいシースケイプで行われたトークライブ最初のテーマは「ジェンダー」。朝市に出店していた5人の女性漁師が登壇し、それぞれの来し方や漁の現状について語った



ヤシ並木を鮮やかな青色で染め上げるイルミネーションと、こちらも青を基調としたプロジェクションマッピングによる光の演出「BLUE MARINA at RIVIERA」が、イベントの最後を美しく飾った

ヨット、モーターボートの雑誌

Kazi

2

FEBRUARY 2022

[特集]

世界のプレジャーボートの潮流を読む

最新注目艇 図鑑2022

“太平洋ひとりぼっち”から60年

堀江謙一、
エンジンなし
19ft艇で
太平洋横断へ

Kazi
YACHT
AWARD
2020-2021

守屋有紗、25歳
オーシャン
セラーへの誓い

小樽港マリーナ30周年・
北海道のヨットライフ

ボート紹介

SAIL「イタリアヨット11.98ベリッシマ」
POWER「アクソバー22スパイダー」

連載

堀江謙一の冒険を検証する[最終回]

「1978~1982年、縦回り世界一周」

海ガールはじめました!

「〈サマーガール〉チームにお邪魔!」

理想のヨットライフを探せ!

「北欧艇で真冬のぬくぬくボートライフ」

全日本470級／スナイプ級選手権

EVENT

第4回リビエラSDGsフェスを開催 海に思いをはせ、海で過ごす1日

枠組みを問わずにSDGsに賛同する人々が一同に会する機会を提供するために、2021年よりリビエラグループが開催する「リビエラSDGsフェス」。その4回目である「LOVE OCEAN 〜リビエラ湘南ビーチクリーン〜」が、12月5日、神奈川県のリビエラ逗子マリーナにて開催された。メインイベントである、湘南エリア3カ所の海岸（森戸、逗子、由比ヶ浜）で行われたビーチクリーンには、約700人ももの参加者が集まる盛況ぶり。また、ビーチクリーンのあとに開催されたトークライブは、海にまつわる五つのトピックについてのパネルディスカッション。各分野の有識者によるトークはリアルで時に重く、しかし笑いも交えながらテンポよく進み、大盛り上がりのうちに幕を閉じた。

(問)リビエラグループ
<https://www.riviera.co.jp/>



トークライブにて。左から元ラグビー日本代表の廣瀬俊朗さん、白石康次郎さん、登山家の三浦豪太さん



由比ヶ浜海岸でのビーチクリーンの様子